

## 日本クルーズ&フェリー学会

### ポストコロナのクルーズの検証のためのワンナイトクルーズを実施

日本クルーズ&フェリー学会(会長梅田直哉大阪大学教授)は、ポストコロナにおける安全なクルーズの在り方を検証するために、四国開発フェリーの「おれんじおおさか」による大阪南港発着のワンナイトクルーズを実施し、39名の参加者が瀬戸内海のクルーズを楽しんだ。



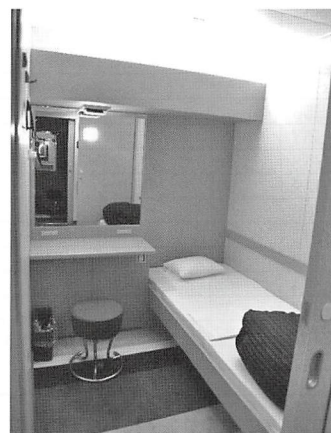
大阪南港に入港する「おれんじおおさか」

このクルーズは「おれんじえひめ」ドック入り時に、昼間に大阪南港から東予に回航する「おれんじおおさか」を利用して昼間の瀬戸内海の航海を楽しみ、東予からとんぼ返りで翌朝大阪南港に帰着する1泊の船旅。

船上での講演会では、四国開発フェリーの瀬野副社長による「新たなるオレンジフェリーの挑戦」、池田事務局長による「ダイヤモンドプリンセスの新型コロナウイルス感染禍とポストコロナ時代の客船事業」、梅田会長による「クルーズ再開にむけて」と題する講演があった。

日本初の完全個室フェリー「おれんじおおさか」では、各室の消毒が念入りに行わ

れた他、レストランでの昼食・夕食時の座席の間隔を開ける、カフェテリア式を取りやめて食事をテーブルに配膳するなどの対策をとった。また、参加者も、検温の他、マスク着用、携帯用消毒液による手指の消毒を徹底する等の対策をとった。



完全個室のキャビン(デラックスシングル)



参加者の船上での集合写真